

課題と主な事業	委員	事業に対する意見等(要約)	令和5年度取組事業に向けて		
			対応	市の考え方	第五次柏市芸術文化振興計画における「施策の柱」と「施策の展開」の位置付け
課題① アフターコロナを見据えての 芸術文化活動の見直し	香島委員	・芸術文化事業として全体を考えると、音楽以外の新たな分野への取組	継続	・伝統を受け継いでいくとともに、時代に合わせた変化を取り入れながら企画を展開する。 ・感染症対策が徐々に緩和されてきた中で開催されたイベントに参加された方々の様子からも、芸術文化活動は我々の心身のバランスを保つ効力を有していると実感している。 ・異なる文化に触れることも芸術文化活動へ参加するきっかけになる。コーディネーターを起用するなど行政主導ではない取組を検討していく。	
	林委員	・新しい世代に参加に呼び掛け、新しい文化、街づくりを促進。以前のよ様な市民との交流を復活させながら、新しい人材、コンサート方法の発掘	継続		
	手塚委員	・参加型のワークショップ「歌う♪」を企画 ・高齢者のみならず、老若男女に共通するワークショップ	未定		
	塘委員	・今まで制限されてできなかったことを実現	継続		
	波木委員	・日本人と海外の方々がごちゃまぜになって楽しめる文化活動	未定		
アウトリーチコンサート	中村委員	・子供達が学校の部活動以外にも少人数のグループで楽しく参加できる企画	未定	・アウトリーチの利点として小回りが利くことが挙げられる。都合のつく少人数での演奏が手軽に披露できる機会づくりを目指す。	(1)-①-身近な場所で芸術文化に親しむ機会の充実 (3)-①-芸術文化活動の担い手の育成 (3)-①-芸術文化事業を支える人材の育成 (4)-①-「音楽の街かしわ」の創出
	亀岡委員	・公共施設ではなく、子育て世代が買い物ついでに立ち寄れる場所で実施 (市内各所あるショッピングセンター、柏神社の神楽殿等)	拡大	・気兼ねすることなく立ち寄れるコンサート。公共施設から商業施設、そしてより地域に馴染みの場所を会場に普段着感覚で観覧できる演奏会を提供する。	
	熊谷委員	・親子で聴けるコンサート、小さなお子さん向けに気軽に聴ける芸術事業	継続	・事業のアンケートから、未就学児対象のコンサートをして欲しいとの意見が多数あり、ニーズの高さは顕著であるため、機会を提供する。	
旧吉田家住宅土間コンサート	塘委員	・子供連れイベントの日を開催	拡大	・国指定重要文化財としての配慮の下、量で鑑賞することができ、また土間の外からもコンサートの様子を見ることができなど日本家屋の特徴を活かした利点を子育て世代へ周知していく。	(1)-①-身近な場所で芸術文化に親しむ機会の充実 (2)-②-文化財施設等を活用した事業の推進 (3)-①-芸術文化活動の担い手の育成 (4)-①-「音楽の街かしわ」の創出
		・和の空間の雰囲気を感じ、音楽も感じられるイベント	継続	・様々なジャンルの演奏家を招き、旧日本家屋の懐の深さを堪能できる企画を立てる。	
	熊谷委員	・土間で座ってコンサートを聴けるということ自体大変珍しいので、今後不定期でも継続して開催	継続	・チラシ・イベント時のMCの中に旧吉田家住宅についての説明を入れるなど理解を深める周知を図る。	
ららぽーと柏の葉 ミュージックふえすた	中村委員	・子供達が学校の部活動以外にも少人数のグループで楽しく参加できる企画	未定	・実行委員会が運営している事業につき制約はあるところではあるが、大型商業施設を会場とした演奏機会は魅力的であり、幅広い層に拡充したい。	(1)-①-身近な場所で芸術文化に親しむ機会の充実 (3)-②-商業施設や民間団体との連携の促進 (4)-①-「音楽の街かしわ」の創出
	熊谷委員	・ふらっと音楽に触れられる良いきっかけとして、未参加学校にも積極的にアピールし、発表の場として活用	継続	・未参加の学校はもちろんのこと、東葛飾地域で活動する団体へも後援申請手続きの際にご案内する等積極的に周知していく。	
子ども向け芸術鑑賞会	亀岡委員	・落語、特に「怪談話」等は効果的	未定	・ジャンルについては、柏ゆかりのアーティストの選定の際に検討する。 ・令和5年度は2校の実施を予定。	(1)-②-学校等における芸術文化の鑑賞、体験機会の提供
「かしわ塾」 管・打楽器(吹奏楽)音楽教室	亀岡委員	・評判が良いようなので、複数日の開催	継続	・学校活動に係るガイドライン等に則した参加対象を調整する。 ・生徒の負担軽減に配慮しながら音楽の街かしわを継承していく観点からも継続を図る。	(1)-②-学校等における芸術文化の鑑賞、体験機会の提供 (3)-①-芸術文化活動の担い手の育成 (3)-①-芸術文化事業を支える人材の育成 (4)-①-「音楽の街かしわ」の創出
	塘委員	・受講する側にはすごく良い経験	継続		
	熊谷委員	・この取り組みをぜひとも継続 ・アンケートの声を反映し、1日だけでなく、日程を分けてでも数日間開催、規模の拡大	継続		

課題と主な事業	委員	事業に対する意見等(要約)	令和5年度取組事業に向けて		
			対応	市の考え方	第五次柏市芸術文化振興計画における「施策の柱」と「施策の展開」の位置付け
中学校音楽鑑賞教室	熊谷委員	・この取り組みをぜひとも継続。 ・アンケートの声を反映し、1日だけでなく、日程をわけてでも数日間開催、規模の拡大	継続	・中学校在学中に一度はプロのオーケストラの生演奏を体感できる機会として継続していきたい。 ・令和5年度は7校の実施を予定。	(1)-②-・学校等における芸術文化の鑑賞、体験機会の提供
課題② 情報発信の強化	波木委員	・柏市史料デジタルミュージアムについては、どのような資料を所蔵しているのかがわかる素晴らしい取組、地道にデータのアーカイブを継続	継続	・情報を発信するには、その情報を受け取って欲しい受け手を具体化し、媒体や手段を構成するとともに、ターゲットとする側の声も取り入れることが不可欠と認識する。 ・特に即効性のあるSNSの活用は有効である分、情報を集約し更新する職員を調整したい。	
		・ターゲットのペルソナ像を作り込み、情報収集するツールを把握し、情報発信 (高校生などは広報かしわよりもSNS)	継続		
所蔵作品の掲出・展示	香島委員	・「芹沢銈介作品展」を1～2年休止し、幅広く紹介	未定	・指定管理者との連携を含めて、公開や周知の機会を検討したい。	(2)-①-・作品の紹介・展示、また活用による柏の魅力の発信
	亀岡委員	・芹沢作品以外の柏市収蔵作品展	未定		
		・年に数回でも学芸員の解説	未定		
熊谷委員	・沼南庁舎まで交通が不便、手軽にいくつかの展示品を見てから郷土資料展示室へ誘導 (一部の作品をパレット柏等で展示し、多くの人の目に触れてもらう)	継続	・柏駅前のインフォメーションセンター及び柏市図書館本館にて情報発信のための展示コーナーの設置。 ・展示コーナーの充実及び誘導方法について工夫する。		
公式SNSの活用	塘委員	・公式SNSの活用し、「フォロー」や「いいね」をしたらイベントに対して特典付与	未定	・既存の情報を流すだけでなく、参加する要素を加え、継続性を促すやり方を検討する。	(1)-①-・芸術文化の情報提供の充実
課題③ 幅広い世代の市民の参加	中村委員	・子供達が将来も文化活動を続けられるよう指導者等に助成	未定	・対象を均一に捉えず、世代毎の特色を把握したうえでアプローチをしないと手間をかけても空回りになると認識した。 ・特に第五次柏市芸術文化振興計画においては、子どもたちが芸術に親しむ機会づくりを行うこととしていることから手厚い取組が求められると感じている。 ・事業に参加した方が、次に家族や友人を誘って参加したくなる企画を展開したい。	
	亀岡委員	・子供達に一回でも心に残る質の良い体験を学校のカリキュラムとして組み込む (ダンス、映像など、若者層が関心を持っているジャンル等)	未定		
	波木委員	・それぞれの世代の趣味趣向や興味を持っている事柄を把握し分析 (性別、年齢、国籍を伺い、好きなアーティストや音楽のジャンル、最近行った展覧会等)	未定		
	塘委員	・夏休み親子DEコンサートが魅力的	継続		
柏市文化祭・芸術鑑賞会	鈴木委員	・小学生など学校での授業や部活動の取組を「文化祭」や「芸術鑑賞会」等で参加、発表等、大人と一緒に文化活動に参加し、さらなる町おこし改革として年齢層の拡充	拡大	・柏市文化祭の一環として実施した「中学生ミライ芸術展」の対象を中・高校生へ拡大し実施予定。	(1)-①-・身近な場所で芸術文化に親しむ機会の充実 (2)-②-・市民芸術文化の発表の場の提供 (3)-②-・商業施設や民間団体との連携の促進 (4)-②-・地域住民と身近な文化団体との連携の推進
大人向け音楽ワークショップ	亀岡委員	・受講だけでなく、発表の機会があると効果的 (例えば、スタジオWUUが開催している「オープンマイク」)	未定	・ワークショップを通して身に着けた成果をアウトリーチコンサートやららぼーと柏の葉ミュージックふえすたの前座出演等で披露できるような楽団づくりを目指す。 ・指導者の選出や練習会場の確保を検討する。	(1)-①-・身近な場所で芸術文化に親しむ機会の充実 (3)-①-・芸術文化活動の担い手の育成 (3)-①-・芸術文化事業を支える人材の育成 (4)-①-・「音楽の街かしわ」の創出
	熊谷委員	・聴き手、見る側だけでなく、自分自身も体験して芸術文化に触れる機会	未定		
美術ワークショップ	熊谷委員	・聴き手、見る側だけでなく、自分自身も体験して芸術文化に触れる機会	継続	・芹沢作品とも関係の深い紅型染教室を令和4年度から継続予定。 ・柏市のアーティストを講師として、身近な芸術文化に触れる機会の提供していく。	(1)-①-・身近な場所で芸術文化に親しむ機会の充実 (3)-①-・芸術文化事業を支える人材の育成
JOBANアートライン協議会事業	熊谷委員	・華やく駅構内に期待	継続	・好評であったアートアンブレラのワークショップを継続予定。 ・アートへの関心が常磐線沿線から市域全体へ波及することを目指す。	(3)-②-・商業施設や民間団体との連携の促進 (4)-②-・地域住民と身近な文化団体との連携の推進

課題と主な事業	委員	事業に対する意見等(要約)	令和5年度取組事業に向けて		
			対応	市の考え方	第五次柏市芸術文化振興計画における「施策の柱」と「施策の展開」の位置付け
市の課題として、 全市的な盛り上がり	鈴木委員	・柏駅前でのワークショップ等ミックス的発表会	未定	・可視化できる盛り上がり感の一つに「人だかり」が挙げられる。集客を問う上で開催場所は大きな要因となるが、立地条件が良くなると足を運ばせる方策を模索する。 ・一か所に集まらなくとも、各市域で同時多発であったり、同じテーマの催しが繰り返されるのも「盛り上がっている状態」と考え、市外に及ぶ話題性に繋がると思われる。	
		・柏市文化振興審議会において観衆の集め方を議論	継続		
	波木委員	・各課と連携してコラボレーションした取組 (イメージとして、コンサート(文化)×屋台(商工)、芸術鑑賞(文化)×カシニワ・フェスタ(住環境))	未定		
	熊谷委員	・まずは継続、「音楽の街かしわ」を市民、さらに近郊の方々に認知、他の市にはないような事業の取組	継続		
市の課題として、 柏市のブランディング	波木委員	・「どの分野に力を入れて柏を認知させていきたいか」に向き合う	継続	・柏市には柏駅前を中心としたストリートミュージシャンの活動が話題に取り上げられたことや吹奏楽部の活躍により知名度を上げてきた経緯から「音楽の街かしわ」を掲げておりますが、近年、音楽活動の形態が多様化するなど状況判断が難しくなっている。 ・また、アンケートなどを通して、音楽以外にも多岐にわたる芸術文化の分野において、市として特化するポイントを検証する。 ・全庁的な取組の中で関係部署と調整を取りながら芸術分野の位置付けを図っていきたい。	
	亀岡委員	・情報発信を続けることが第一	継続		
		・マスコミの活用	継続		
		・「ちょっと知的で面白いこと」「興味を持たれること(ターゲットを定めて)」	継続		
	塘委員	・旧吉田邸のように、「〇〇×□□」(掛け算)が効果的	継続		
塘委員	・大型商業施設での要望が多いことから、親子連れが参加しやすい、小さい子を連れて行って大丈夫なコンサートを積極的に開催 ・悩んでいる母親がリフレッシュできる機会	継続			
自由意見	亀岡委員	・柏観光プロダクション主催のフットパスツアーに参加し、有益だった	継続	・地元を知るきっかけ作りとして、更には郷土愛の醸成にも重要な企画。様々な担当部署が関わることで専門性も高まると期待される。 ・せっかくの意見も書面では一方通行になってしまうこともあり、可能な限り対面にて開催する。 ・所蔵作品の管理を含めて対応を検討したい。 ・情報収集に努め、対応を検討したい。 ・指定管理者と連携しながら企画を検討したい。	
		・柏市文化振興審議会は委員もお互いの発言に触発されて良いアイデアが出るかもしれないので対面式が良い	継続		
	堀委員	・収蔵庫の拡充	未定		
		・芸術文化活動に貢献している芸術家を含む普及家、功労者の紹介や表彰 (学芸員等の専門家による目利きが不可欠)	未定		
		・パレット柏での市企画の拡充	継続		